

# 1年2組 算数科学習指導案

令和6年11月15日(金)

場 所 1年2組教室

指導者 平石 英之

## 1 単元名 ひきざん

## 2 目 標

- ・11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算が、「10といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできる。 【知識及び技能】
- ・数の構成に着目し、11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を、操作や図を用いて考え、表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】
- ・11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方について、「10といくつ」という数の見方や操作、図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとする。 【学びに向かう力、人間性等】

## 3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 既習の加減計算や「10といくつ」という見方を基にした13－9等の計算の仕方を理解している。 ② 11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算は被減法を10のまとまりといくつにわけて考えればよいことを理解している。 ③ 11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算している。 ④ 簡単な場合について、2位数などについても加法や及び減法ができることを理解している。	① 10のまとまりから1位数を引いて計算すればよいことを考えている。 ② 被減数、減数の大小に関係なく、被減数の構成に着目して計算の仕方を考え、図式などによって説明している。 ③ 計算カードの並び方について、被減数が1増えると減数も1増える、という関数的な見方に気づき、数の関係を説明している。 ④ 単元の学習を活用して問題の解決の仕方を考え、説明している。	① 既習の加減計算の学習や数の見方を基に、13－9等の計算の仕方を考えようとしている。 ② 単元で考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

## 4 単元について

本単元では、「10といくつ」という数の見方に着目し、11～18から1位数をひく繰り下がりのある計算の仕方を考え、理解し、計算することができる力を育成することをねらいとしている。児童はこれまでに「10よりおおいかず」の学習で、ブロック操作から数の構成を10とあ

といくつと捉えることによって、 $15-5$ などの減法の計算をしている。しかし、問題文に対して具体物、図、式を別々のものとして捉えている児童もおり、減法の計算の仕方の理解、操作や図を用いて自分の考えを表現する力が十分でないと考えられる。

そのため、図を用いて考え方を説明する活動を行い、減法計算の仕方の理解、操作や図を用いて考える力の育成を図る。具体的には、オクリンクを用いて問題解決の過程や結果を表現し伝え合う。そのために言語で表現するモデルの提示を行う。本単元の導入では既習のひき算の仕方を確認し、「10のまとまり」や「ばらの数」といった用語を用いて説明することを押さえる。毎時間学習履歴を振り返り、具体的に用いるとよい用語や説明の手順を本時でも児童の説明に活かせるようにしたい。本時では、計算の仕方を図の操作を複数回繰り返し発言させることで図の操作と言語の一致をはかる。単元の終末には、減法計算の仕方の理解、操作や図を用いた過程や結果を振り返り、日常生活の場面で生かそうとする態度を育てたい。

## 5 主体的に学ぶ姿を目指して

### 重点①【課題を見つけるための工夫】

児童が主体的に学習に取り組むために、「10のまとまり」「ばらの数」など用語を用いて既習内容を振り返り、学習履歴や板書を掲示することで前時との違いに気付かせる。

### 重点②【考えを広げ深めるための工夫】

児童が自分の考えを広げ深めるために、オクリンクのシートを使って考えを伝え合う。オクリンクのシートは「10からひきざん」を黄色のシート、「ばらからひきざん」を青色のシートに色分けする。オクリンクの活用で友だちとの考えをすぐに見られることや、もう一枚のシートを書き込みながら説明することで自分の考えをペアの友だちに伝えることができる。

6 単元計画（総時間9時間）

次	主な学習活動	重点 (○) 評価 (□)
一	<p>&lt;どこからひけばよいのかな&gt;</p> <p>ばらのかずからひけないときは10のまとまりからひくといいよ。</p>	<p>○10のまとまりを意識させるために10のブロックをケースに入れて掲示する</p> <p><b>態1</b> (発言・ICT)</p>
	<p>&lt;13-9のけいさんのしかたはどうすればよいかな&gt;</p> <p>13-9も、さくらんぼさくせんで、10のまとまりとばらのかずにわけてけいさんするといいよ。 「10からひきざん」さくせん。</p>	<p>○計算や説明の仕方を全員で共有するためにブロック操作と図の描き方の手順を言葉で表現する</p> <p><b>知1</b> (発言・ICT)</p>
	<p>&lt;14-8のけいさんのしかたはどうすればよいかな&gt;</p> <p>14-8も、10のまとまりとばらのかずにわけて、10のまとまりから8をひくといいよ。</p>	<p>○オクリンクのシートを使って説明できるように、学習履歴や言葉カードを用いる</p> <p><b>思1</b> (発言・ICT)</p>
	<p>&lt;11-7のけいさんのしかたはどうすればよいのかな&gt;</p> <p>やっぱり、「10からひきざん」でけいさんできたよ。</p>	<p>○10のまとまりに着目させながら計算の仕方を説明できるように、繰り返し言葉と図で表現する。</p> <p><b>知4</b> (言葉、ICT)</p>
二	<p>&lt;12-3のけいさんのしかたはどうすればよいかな&gt;</p> <p>ばらのかずからひく「ばらからひきざん」でもけいさんするといいよ。</p>	<p>○3をどのようにとるのか、ブロック操作と図を用いて計算の仕方を確認する。</p> <p><b>知2</b> ※ (発言・ICT)</p>
<b>本時</b>		
三	<p>&lt;けいさんカードをつかってれんしゅうしよう&gt;</p> <p>まえよりすらすらひきざんのこたえがだせるようになったよ。</p>	<p>○繰り返し下がりのあるひき算の計算を正確にできるようにするために、繰り返し計算カードで練習する</p> <p><b>知3</b> (ICT・観察)</p>
	<p>&lt;どんなきまりがあるかな&gt;</p> <p>ひきざんもたて、よこ、ななめで見ると数が1ずつふえたりへったりしている。</p>	<p>○式の数と答えの関係に気づかせるために、計算カードに線を引く</p> <p><b>思3</b> (ICT・観察)</p>
	<p>&lt;ひきざんはばっちりかな&gt;</p> <p>ひきざんも10のまとまりとばらのかずをつかってけいさんしたらできたよ。</p>	<p>○学習履歴全体を活用して振り返る</p> <p><b>態2</b> <b>思4</b> <b>知4</b> ※ (ICT・観察)</p>

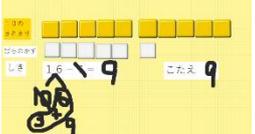
7 本時（第二次2時）

(1) ねらい 被減数、減数の大小に関係なく、被減数の構成に着目し減加法か減々法を選択して  
図式などによって計算の仕方を説明することができる（思考力、判断力、表現力等）

(2) 本時のめざす児童の姿

自分が減加法か減々法のどちらで計算したのか相手に伝えようとする姿

(3) 学習過程

主な学習活動と思考の流れ	時	支援（・）重点（○）評価（□）
<p>○どんなやり方で引き算できたかな</p> <p>・「10からひきざん」と「ばらからひきざん」でできた</p> <p><b>1 課題をつかむ</b></p> <p>&lt;16-7はどうやってけいさんするのか&gt;</p> <p><b>2 考えを持つ</b></p> <p>・16-7は10から7をひく「10からひきざん」</p>  <p>・ばらのかず6とのこりの1を10からひく「ばらからひきざん」をつかうよ</p>  <p><b>3 自分の考えを伝え合う</b></p> <p><b>10からひきざん</b></p> <p>・はじめに、16を10と6にわけます</p> <p>・つぎに、10のまとまりから7をひいて3です</p> <p>・さいごに、3と6をたして9です</p> <p><b>ばらからひきざん</b></p> <p>・はじめに、10と6、7を6と1にわけます</p> <p>・つぎに、ばらのかずの6をひきます</p> <p>・さいごに、のこりの1を10からひいて9です</p> <p><b>4 みんなで考えを深める</b></p> <p>&lt;&lt;17-8はどうやってけいさんするのか&gt;&gt;</p> <p>・はじめに、17を10と7にわけます。つぎに、10のまとまりから8をひいて2です。さいごに、2と7をたして9です</p> <p>・はじめに、10と7、8を7と1にわけます。つぎに、ばらのかずの7をひきます。さいごに、のこりの1を10からひいて9です</p> <p><b>5 まとめる</b></p> <p>やっぱり、10からひきざんやばらからひきざんでけいさんできた</p> <p><b>6 ふりかえり</b></p> <p>・○は5つです。わけは、ともだちのはなしをきいてばらからひきざんができたからです。</p>	<p>5</p> <p>7</p> <p>10</p> <p>15</p> <p>8</p>	<p>○「10のまとまり」「ばらの数」など用語を用いて既習内容を振り返ることで、意味や使い方の定着をはかる</p> <p>・「はじめに」「つぎに」「さいごに」をヒントにすることで計算の手順を整理させながら説明できるようにする <b>デジタル</b></p> <p>○オクリンクのシートでもう一枚のシートに書き込みながら説明することで、自分の考えをペアの友だちに伝える。 <b>デジタル</b></p> <p>・ペアの人に計算の仕方を複数回繰り返し発言させて言葉と操作の一致をはかる <b>リアル</b></p> <p><b>思②</b>被減数、減数の大小に関係なく、被減数の構成に着目し減加法か減々法を選択して、図式などによって計算の仕方を説明している</p> <p>※（発言、ICT）</p>